

2025~26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL : <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email:katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川博則 ■幹事 辻利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～縁（えにし）
を継なぐ～

第3098回 例会 (10月28日)

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



皆さん、こんにちは。連日、熊による被害が全国各地で報道されています。わが町・勝山市でも、決して他人事ではない状況になっております。山だけでなく人里近くにも姿を見せるようになり、大変危険な状態です。「明日は我が身」という気持ちを忘れず、常に最新の情報を確認しながら自分や地域の安全を守っていきましょう。危険を遠ざける一番の防御は、意識と備えだと思います。

さて、季節はまさに「食欲の秋」「文化の秋」。新酒販売のニュースも入り、街のあちらこちらで秋の香りが漂っています。

今月25日、26日の週末には、各地で多くの行事が開催されました。

ロータリー関連では、福井ロータリークラブの創立75周年記念式典が、盛大に執り行われました。長い歴史と伝統を感じる、立派な式典でした。



また市内では、商工会議所さん主催の「産業フェア」がジオアリーナで、そして市民会館・教育会館では文化祭が開催されました。

私の妻も朝早くからお茶会へ参加し、文化の秋を楽しんでおりました。

斎藤会員の奥様はしの笛や日舞を、山内会員の娘さんたちは吟舞を披露され、舞台狭しと素晴らしいパフォーマンスを見せてくださいました。まさに芸術の秋、お見事の一言です。

その中で、私の同級生のお母様を発見しました。80歳を超えてなお、ご自身の楽しみを見つけ、元気に舞台に立っておられる姿には、心から敬服いたしました。年齢に関係なく「楽しむこと」「続けること」の大切さを改めて感じました。

そして本日の例会では、竹田式体操の竹田先生をお迎えしております。「元気になれる体操」と伺っております。ぜひ皆さん、しっかり耳を傾けて、例会後は心も体もますます元気になって帰りましょう。

本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

●委員会報告

●SAA

織田 昌弘

11月の会場設営はBグループです。

小林・山本・鷲田・中道・福田浩司・渕上会員はよろしくお願いします。

●出席報告

山内 智子

10月28日 欠席4名 80.95%

10月21日 欠席4名 80.95%

●ニコニコ報告

笠松 誠一

届出欠席 和田耕三

本日 プログラム	ボーズマガジンRC 訪問報告会	11月8日 プログラム	IM みくに未来ホール	11月11日 プログラム	IM振替 休会	11月18日 プログラム	ゲスト卓話 福大医学部 酒井氏
-------------	--------------------	----------------	----------------	-----------------	---------	-----------------	--------------------

ゲスト卓話

竹田式体操

竹田 和江 氏



中学校で体育教師をしていた頃、定年になる2~3年前に管理職となり、体を動かすことが減ったせいか、膝が痛みはじめました。

定年後はダンスをしたかったのですが、膝の痛みから断念し私なりの体操を考えました。

音楽に合わせて行い、レパートリー曲は90曲ほどあります。



現在は大野の「めいりん」で火・水・金の13:30~一時間半ほどの体操教室を開催しています。



ボーズマンサンライズRC
訪問報告

笠松 誠一



夢のような一週間でした！
ぜひ再び訪れたい！



● シアトルでの大リーグ観戦
失望から感激爆上げへ

大谷翔平選手は残念ながら休養日で出場はなかったですが、メジャー球場の雰囲気を大いに感じることができた。

球場全体の熱気が敵味方関係なく盛り上がるのがよく伝わってきた。

ドジャースのユニフォームを着て応援している周囲のファンも、マリナーズが得点すると歓喜して地元チーム愛も感じられた。

これまで大谷選手の勝ちを棒に振ってきたブルペン陣3投手が当日は奮起して7. 8. 9回をそれぞれ三者三振とし9連続三振というめったに見れないシーンが見られた。

緊張感を共有でき、ドジャースの勝利を味わうこともできた。

ただ、試合終了後の客席通路が、食べ残しのゴミで一杯だったのは残念だった。



● ボーズマン空港での熱烈歓迎
和やかなウエルカムディナー

到着ロビーでは、我々の数倍の方々が歓迎のフリップをかざして出迎えてくれた。私のホームステイ先のビッキーさんと挨拶をかわした。

小柄でチャーミングな方でほぼ同年齢で安心。さっそく彼女の携帯翻訳アプリでなんとなく？会話が成り立ったようだった。

ウェスタンスタイルのレストランで、肉料理のおもてなし。

日本では89g前後しか食べないヒレステーキを3倍以上のボリュームをペロリといただいた。その後に今井さん推奨の翻訳アプリ「ボイステラ」をインストールし、ビッキーさんとの会話もはずむようになった気がして、初めてのホームステイへの不安が少しやわらいだ。



● 人生初のホームステイ

言い合いもあり親近感をもつ

閑静な街並みの中の、ビッキーさん自身のインテリアコーディネートのお宅。

中東風のカーペットや地中海風のタイルがふんだんに使われている地下のゲストルームに感激。そのことに触れると、レバノン生まれで長くトルコに在住したことであった。

こちらのお土産のフクイラプトルのフィギュア、抹茶のキットカット袋は喜んでもらったが、自然派の彼女にはハイチュウその他は不評気味。翻訳アプリで結構会話できた。

ただし、コカコーラを持ち込んだら、いたく怒られた。ご自宅庭の獲れたて絞りたてのリンゴジュースを朝晩いただくこととなった。

また、ライスを用意してもらったが、炊き方がいまいちわからないとのことで、持参したサトウのチンするごはんを電子レンジにそのままかけようとしたら大激怒。

彼女はアメリカの大手電器メーカーであるイートン社に長く勤務していた理系女。

パックの絵などでいくら大丈夫といつても納得せず、セラミック容器に移して対応。

彼女の分もしたら、おいしいをもらった。

フリーズドライのお味噌汁、三国産の板わかめなども好評であった。

遠慮しながら、言い合いしながらも打ち解けていったのではないかと思う。

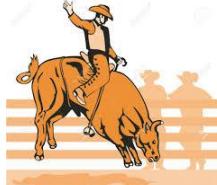
最終日の朝にはハグしてもらえた。



● ロッキー博物館 今回旅行の最大の目的地

最初に博物館同志の連携やロータリーの交流が伝わる式典となった。館内では学術的な説明をいただいたと思う。収蔵数や研究が凄いとのこと。ただ浅学な私としては、福井県立博物館はエンターテイメント性も十分にあって、古生物や地質に関心を抱く入口として優れていると感じた。また、ミネソタ州立大学は明るい雰囲気で開かれた大学を感じた。

調印式の場でのロディオやラインダンスは楽しかった。実は前日にラインダンスと聞いて、宝塚やSKDの画像で、ビッキーさんと盛り上がったのですが。実に恥ずかしい勘違いがありました。



イエローストンは アメリカ初の国立公園で、雄大な風景や地形、間欠泉、バッファローの群れ、開拓時代の街並みをゆっくり見学できた。

最終日のアビーさん宅のホームパーティはとてもフレンドリーで良かった。特にマジシャン鷺田が最後のエネルギーをふり絞った演出は日米ともに盛り上がったフィナーレだった。

まだまだ書き足りない、印象深い旅でした。次回は、磯崎新さん設計のロサンゼルス美術館とドジャーズスタジアムを訪問したいと強く思った次第です。